



みやぎ

- 26号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 清野 仁
 〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

新病棟等の完成間近に

事務部長 佐藤 浩司

現在、宮城病院では今年の12月開棟を目指して病棟等整備工事が盛んに行われています。主な工事内容として、一つは1個病棟当たり60床で4階建ての病棟新築、もう一つは神経難病センターa病棟44床に16床を増床する増築です。完成後は病棟名も新たにし、前者については中央病棟、後者を南病棟と呼称し運営していくこととしています。その他関係する古い建物の改修等の関連工事も同時進行で行われています。既存建物の遡及工事に当たっては病院を利用されている皆さんや働く職員の皆さんには何かとご不便をお掛けしているところです。

今は新病棟等建物の外装的な分は完了し、内装及び外構工事が急ピッチで進められています。

この病棟等整備を進めるに当たっては、建物の安全性はもちろんのこと「患者さんに優しい建物」、「利用しやすい建物」、「働く職員にとっても優しい建物」、「使い勝手の良い建物」を造るをコンセプトに関係職場の代表者から多くの意見を出してもらい、限られた整備予算の中で可能な限り設計に盛り込んでもらいました。また、建物の形が出来上がって後の壁等の色決め、固定設置の設備の物決め等にも職員からの意見を参考に進めてきました。すべての方に100%満足していただけるとまでは行かないまでも、それ相応にすばらしい病棟等が完成するものと考えております。

また、今回の建物整備に当たって考慮した点は地球環境の優しさにも繋がるエコに配慮し、照明のLED化、当院の既存建物では採用されていない窓ガラスの複層化や化石燃料使用量の減少に繋がる冷暖房の電化等にも取り組みました。これらのことは患者さんや職員のアメニティの向上にも繋がるものと思っています。

ところで、当院で現在使用している主な建物は昭和41年以降順次整備（例えば5・6病棟は昭和41年築、1～4病棟は昭和45年築、あすなろ病棟は昭和45年から47年築等）されてきたものであり、

築40年以上経っていて老朽化も著しく狭い、暗い、段差がある、使い勝手が悪い等々現在の住環境と比べ隔世の感があります。しかしながら新病棟等を整備するに当たっては償還計画がどう立てられるかによって予算的な制約もあり全てを新築するという訳には行かず、既存建物も使用していかなければなりませんので現在の建築基準に適合させるべく改修も必要となってしまいました。

いよいよ新病棟等の完成が間近に迫ってきました。その時まで気を抜かずに進めていきたいと思っています。



前のページより

今後、建築中の建物は竣工、建築基準・消防、医療法等々の諸検査を受け、全ての承認が下りた段階で使用可能となります。当初の計画では昨年の10月には新病棟に移れる予定でしたが、諸事情が重なり工事着工までに相当の時間を要したことから完成時期が遅れに遅れてしまいました。その分新病棟の完成が待ち遠しく、期待に胸をふくらませているところです。

病棟等の完成後にはその建物を最大限活用しつつ「良い医療を安全に、心を込めて」を職員皆で再度確認し合い患者さんに最高のサービスを提供していきたいものと思っています。

工事を進めるに当たって関係皆様からいただいたご支援、ご協力に感謝いたします。



秋祭り

～ あすなる病棟 ～



9月12日、日曜日。12月には新病棟に移転するため、中庭で行う最後の秋祭りでしたが、あいにくの雨。また、あすなる2病棟では利用者の方々に風邪の兆候があり参加できなかったため、あすなる1病棟とあすなる3病棟での開会となりました。

午前は山元支援学校の教頭先生や管理課長と副看護部長の挨拶をいただき、この日のために練習してきた、あすなる1病棟はきよしのズンドコ節、あすなる3病棟は相馬盆唄の踊りを盛大な拍手の中で披露しました。お昼は特製の美味しい、美味しい幕の内弁当を食べ、午後



は相馬市の渡邊孝喜さんによる「民謡ショー」でソーラン節や、さんさ時雨などを唄っていただきました。澄んだ声と楽しい話術に利用者ご家族は惜しみない拍手を送り、アンコールの音が響きました。

40名のボランティアの方々と66家族、スタッフが協力し合い「楽しかったね!!」の声。「炎天下よりは雨でよかったね」との声もありました。あすなる2病棟はマイムマイムなどを踊り、家族の出し物で盛り上がりましたが、みんなと一緒に民謡が聴けなかったのが残念でした。
(保育士 目黒 洋子)



職場紹介

～ 歯科外来 ～



歯科外来には3人の歯科医師に、歯科技工士と受付事務員と現在は育児休暇中の歯科衛生士が1人ずつの計6人が所属しています。

歯科技工士は、父親の代から宮城病院に務め、官舎で育った上に勤続32年というスゴ局さまで。父親譲りの器用で確かな腕は患者さんも良くご存じで、「作ったものがピタっと入るのは技工士さんが上手なのよね・あ、先生もお上手ですけど・・・。」と言われることも・・・。受付事務員は、あすならと一般病棟で看護助手をし、薬剤科助手や医局秘書も経験してきたという影の？

歯科外来においても患者さんと技工士と診療スタッフの予定を調整する要です。

小さな身体で力持ち・・・ネジが回らない時は彼女が回すと外れ、機械が言うことを聞かない時は彼女の名前を呼ぶだけで機械が動き出し、隠れていたものは出てくるのです。歯科衛生士には、今年の8月に初めての赤ちゃんが生まれました。来年1月には戻ってきてくれるという若くて明るくて優しい彼女を、皆、首を長くして待っているのです。
(歯科医長 中原 寛子)



エンゼルメイク自主学習会を開催して



入院から退院までの回復過程は患者様ごとにさまざまです。私達は患者様への治療とともに、生命力を最大限にできるよう環境とケアを提供しています。そのような中で患者様の人生のラストステージに向き合うことも少なくありません。私達はグリーフケアにあたり患者様やご家族に寄り添いながら心をこめて、ていねいに実施し、ご家族にも満足していただけるよう心がけております。

当院では、「エンゼルメイク」の根拠を習得したスタッフが中心となって、昨年からの学習会を重ねています。これまでの学習で時間と共に変化していく患者様の身体が私達のエンゼルメイクのあり方によってご自宅に帰られたとき、自然な姿でご家族と会えるのだということがわかりました。



また、今年初めに「エンゼルメイクセット」を購入し、人生の最後を迎えた患者様のために活用しています。

今後はこの研修に参加していただいたスタッフの知識技術をさらに院内で広めていき、2年間継続してきた研修が、スタッフのグリーフケアに対する意識の向上につながれば幸いです。



学習会担当者より：患者様が最後を迎えられるとき、できるだけ生前の自然な姿を失うことがないように、ご家族の心に少しでも寄り添える看護ができればと思っています。

(教育担当師長 丹野 くみ子)



紹介医療機関 (9月末日現在) ご紹介ありがとうございます。



- ・松村クリニック(54件)
- ・平田外科医院(31件)
- ・三浦クリニック(24件)
- ・東北大学病院(22件)
- ・南東北病院(20件)
- ・公立相馬総合病院(34件)
- ・相馬中央病院(26件)
- ・浜吉田駅前内科(22件)
- ・仙台厚生病院(21件)
- ・広南病院(20件)

上位10医療機関のほか、県内外142医療機関からご紹介いただいております。

診療案内

平成22年10月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
						仙台医療センター医師
神経内科	新患	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明
	再来	今井 尚志	今井 尚志	久永 欣哉	久永 欣哉	清水 洋
		平岡 宏太良 (高次脳機能障害)	伊藤 博明	松本 有史		
呼吸器科			芦野 有悟			
消化器科				県立がんセンター (13:30~15:30)		
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
整形外科						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科						澤村 武 東 秀子 隔週交代 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科	新患				大隅 悦子 (14:00~15:00)	
	再来	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
放射線科(画像診断)				齊藤 美穂子		
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来	平岡 宏太良				
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2,625円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。
高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

J R 常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から

J R 常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

